

【2月9日・10日 自治会長報告会 結果概要】

○ 各地区自治会長（代理も含む）の参加状況

- ・ 亀山地区（2月9日（金）18:30~20:00）： 12名（13自治会）
- ・ 松丘地区（2月10日（土）10:00~11:30）： 8名（8自治会）
- ・ 久留里地区（2月10日（土）14:00~15:15）： 14名（21自治会）

- 千葉県から資料1に基づき「久留里・松丘・亀山地区住民の移動実態に関するアンケート」の結果を説明し、君津市から資料2に基づき「公共交通利用の潜在的なニーズにかかるイメージ図」について説明があった後、意見交換を実施した。

○ 以下、各地区自治会長（代理含む）から頂いた御意見の概要

※2月10日（土）午後5時 記者説明 君津市説明内容抜粋※

<亀山地区（2月9日（金）18:30~20:00）>

現状の地域の方々の生活実態から、鉄道が日常の移動手段とはなっていないものの、地域の観光資源を活用し、観光利用を増やすことで活路を見出せないか、観光の時期だけでも鉄道を運行できないかなど、日常の利用手段としてではないかたちで、鉄道を残せないかという御意見が複数あった。

一方で、こうした鉄道を残したい思いとは別に、日常の移動手段の確保として、デマンド交通の充実など、地域内の公共交通の充実は

必要との御意見が複数あった。

その他、公共交通の利便性が悪いことで、通学の選択肢が狭められてしまっている、買い物については宅配や移動販売で足りている現状にある、といった御意見もあった。

<松丘地区（2月10日（土）10:00~11:30）>

車の利用が大半ではあるが、JRには公共交通を担ってきた責任があり、今後の検討の中でも、県や市はJRに対し、引き続き責任を果たすよう求めてほしい、

久留里線のことだけを取り上げて検討するのではなく、この地域全体の移動手段の確保といった広い視点から、検討してほしい、

いつまでも地域で住み続けられるような利便性の高い公共交通の仕組みを考えてほしい、といった御意見があった。

<久留里地区（2月10日（土）14:00~15:15）>

現状の利用状況であると、大量輸送である鉄道の機能を果たせていないことから、今後の運行継続は難しい。ただ、駅から遠い地区の方もいるので、代替バスなど公共交通の充実なども考えてほしい、といった御意見があった。

< 3 地区共通 >

高齢化が進み、免許返納や親族の送り迎えがいつまで続けられるかわからない中で、買物での荷物の問題や通院のことを考えると、自宅と目的地の両方でなるべく近い距離で利用できるような公共交通が求められている様子が覗えた。

久留里線を残してほしいとの思いはあるものの、現状の公共交通に関する問題意識はあるため、将来、車で移動ができなくなった場合の移動手段を確保してほしい、全体の公共交通体系を考える中で何が必要かを検討してほしいといった御意見があった。

また、公共交通の潜在的ニーズへのダイレクトな移動手段が実現し、今より利便性が高まるならば、鉄道以外の代替交通も含めた検討が必要では、との御意見があった。

○検討会議委員の受け止め

君津市としては、今後は、アンケート結果で示された地域の移動ニーズや、報告会で頂いた御意見を踏まえ、この地域の今後の移動手段について、より具体的な検討を進めていく必要性を感じた。

検討の必要性については、藤井特任教授や千葉県も認識を共有した。